

『時事直言』 No.1752 2025年8月1日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] t_masuda2019/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] t_masuda2019/



時事評論家 増田俊男

「石破降し」は自民降し

8月8日に自民党は両院総会を開いて参院選敗北の分析と責任問題について議論することになった。人民党内の石破降しは強まるばかりだが、衆院選、都議選、そして今回の参院選の敗北は長期政権による腐敗(裏金問題など)と国民軽視、企業優先の体質にある。

格差拡大、物価高、生活苦、福祉負担増で苦しむ国民の対自民期待は失望に変わった。

だから参院選で自民支持層の一部が同じ保守の国民民主と参政に流れたのは当然である。

自民両院総会で石破内閣内外政策論議でなく、三選責任問題ばかりなら国民はさらに自民から離れるだろう。

「石破降し」イコール「自民降し」である。

与野党の心ある保守系議員が連携して保守新党を立ち上げる時が来たのではないか。

ゼレンスキー降し

2014年2月親露ヤヌコビッチ政権をクーデターで崩壊に追い込み、親米ポロシェンコ政権を樹立したのはオバマとバイデンである。

当時国務次官補であったヌーランドの行動記録が証明しているばかりかオバマ自身が CIA と国務省関与を認めているのだから事実である。

ゼレンスキー政権はアメリカと欧州を両股に掛けた傀儡政権である。

7月23日ゼレンスキーは(政権から独立していた)国家汚職対策局と特別汚職対策検察庁を自分が任命し、自分に従う検事総長の権限下に移行する法案を国会で通過させ承認した。

この汚職対策の為の独立機関により最高裁長官から国防相、軍司令官に至るまでの多くが逮捕され起訴されている。

いよいよ次はゼレンスキーの番になったところで両機関の独立制が剥奪されたのである。

米国務省とCIAの支援でウクライナの各地で反ゼレンスキー、反汚職デモが起きている。

ウクライナ戦争の停戦は領土を一切割譲しないと主張するゼレンスキーを除く以外にない。

トランプはゼレンスキーの大統領任期が2024年6月であったことから辞任を迫っていたが、非常事態下(戦争中)は、大統領権限を継続出来ることから作戦を変え、ゼレンスキーの驚くべき汚職を暴き、ウクライナの国民を使ってゼレンスキーを追い出さそうとしている。

ゼレンスキーは「時は金なり」とばかり兵器の横流しでもっと、もっと稼ごうとしている。

ゼレンスキーも長くないが、トランプもやがて使い捨てになることを知っておいた方がいい。

好評先行受付中！増田俊男の小冊子 Vol.151

『必ず起きる第三次世界大戦』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 151 は好評先行受付中です。

内容は、*はじめに 戦争は起こすものではなく、「起きる」もの！ *世界の警察官(アメリカ)が居直り強盗(トランプ)に変身した *一体どんな世界大戦になるのだろうか *大戦の勝敗を決めるのは何かです。価格は、1冊 5,800 円(送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。